ひょうごらくのうメモ

平成３０年７月号

おいしいね　兵庫の牛乳　もう一本！

挿絵提供　題名“　うしさん　だいすき♡”井上　あいり　４才

（徳島県板野郡）

目　　次　　（第３５回らくのうひょうごフェスティバル応募作品）

1	生乳動向（累計）
2	行事メモ　30 年 7 月
3	計画生産推進一覧表《30 年度 6 月》
4	用途別販売成績《30 年度 6 月》
5	生乳検査実績速報《30 年度 6 月》
6	淡路家畜市場情報《30 年度 6 月》
7	隣県家畜市場情報《30 年度 6 月》
8	北海道産牛価格情勢《30 年度 6 月》
9	北海道乳牛産地情報《30 年度 6 月》
10	牛群成績平均情報《30 年度 6 月》
11	乳用牛改良情報《30 年度 6 月》
12	輸入粗飼料の情勢《30 年度 6 月》
13	抗生物質混入事故防止の注意喚起

発行：兵庫県酪農農業協同組合

酪　農　メ　モ

平成３０年７月
兵庫県酪農協

報告

１．生乳生産量の動き（全国）・・・（平成３０年６月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成３０年　４月	６２３．８	９８．８
平成３０年　５月	６４７．９	９９．５
平成３０年　６月	６２０．９	９８．９
平成３０年　７月		
平成３０年　８月		
平成３０年　９月		
平成３０年１０月		
平成３０年１１月		
平成３０年１２月		
平成３１年　１月		
平成３１年　２月		
平成３１年　３月		
平成３０年度累計	１８９２．５	９９．１

２．生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪協扱い分・公共施設を除く）
（平成３０年６月・前年より２８２１．４トンの減、計画生産目標数量４，２７６トンに対し９５．２％で推移）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比(%)	対前々年比(%)	戸数（戸）
平成３０年　４月	４，４３０，０５８	６１．７	６０．２	２１１
平成３０年　５月	４，４７５，９５１	６０．８	５９．９	２０９
平成３０年　６月	４，０７２，７４８	５９．１	５８．７	２０８
平成３０年　７月				
平成３０年　８月				
平成３０年　９月				
平成３０年１０月				
平成３０年１１月				
平成３０年１２月				
平成３１年　１月				
平成３１年　２月				
平成３１年　３月				
平成３０年度累計	１２，９７８，７５７	６０．５	５９．６	２０８

３．行事メモ　＜平成３０年７月＞

◆ ７月１１日　理事会　（第４回）
　報告事項　１）平成 30 年度生乳計画生産進捗状況について
　　２）平成 30 年度 4・5 月限定決算について
　協議事項　１）通常総会の質問に対する回答書について
　　２）第 36 回兵庫県酪農祭開催要領（案）について

◆ ７月１３日　平成３０年度生乳の安全安心兵庫県協議会

生乳の安全・安心全国協議会、近畿地域協議会らの取組状況や方針を受け、兵庫県協議会として県関係指導機関及び各乳業メーカー担当者出席の下、29年度報告、30年度の取組方針を協議しました。生乳生産管理チェックシートの記録においては、重点記帳項目の全項目未記入者は解消されましたが、一部未記入者が存在しています。引き続き組合員に記帳保管の重要性を理解頂き、良好な記帳状況に向け活動を継続。また、動薬等の残留による廃棄事故を未然に防止できるよう体制構築を図る事を決定しました。今後順次関係機関と日程を調整し記録の検証巡回を実施いたします。

◆ ７月１２日～１６日　前期牛群審査・後代検定娘牛体型調査

牛群審査実施戸数　11戸90頭
〃　奨励審査戸数　1戸6頭
娘牛体型調査戸数　11戸49頭

◆ ７月１９日～２０日　酪農共済推進巡回（淡路地域）

平成30年度酪農共済推進として、淡路事業所管内の巡回を行いました。共済・障害におきまして、新規3件、増口及び追加加入4件と酪農共済へのご理解ご加入を頂きお礼申し上げます。

◆ ７月２０日　兵庫県ホルスタイン改良協議会総会　（淡路供給センター）

４．行事予定＜平成３０年７月・８月＞

７月２４日　兵庫県牛乳普及協会総会・ブランド協議会（楠公会館）
８月２０日　平成30年度淡路自衛防疫推進協議会総会
２１日～２２日　酪農共済推進巡回（本州側）

● ８月精液配布コース予定日

７日但馬コース　８日淡路コース　２１日西播コース　２８日東播コース

平成30年度6月分計画生産推進一覧表

（単位:kg, %）

地区名	6月分 生乳生産乳量	前年対比	今年度累計	前年対比	月別	総受託乳量	前年対比
阪神地区	662,858.0	43.8	2,068,822.0	44.4	4月	4,430,058.0	61.7
播州地区	1,118,043.0	43.0	3,564,607.0	44.4	5月	4,475,951.0	60.8
丹但地区	388,184.0	55.7	1,248,736.0	57.5	6月	4,072,748.0	59.1
淡路地区	1,903,663.0	91.3	6,096,592.0	92.7			
					第1四半期	12,978,757.0	60.5
					7月		
					8月		
					9月		
					第2四半期	0.0	
					10月		
					11月		
					12月		
					第3四半期	0.0	
					1月		
					2月		
					3月		
					第4四半期	0.0	
合計	4,072,748.0	59.1	12,978,757.0	60.5	合計	12,978,757.0	

公共施設分

地区名	6月分 生乳生産乳量	今年度 累計
阪神地区		
播州地区	19,002.0	66,174.0
丹但地区		
淡路地区	29,027.0	92,418.0
合計	48,029.0	158,592.0

公共施設含む

6月分 総乳量
662,858.0
1,137,045.0
388,184.0
1,932,690.0
4,120,777.0

公共施設含む

今年度 総乳量
2,068,822.0
3,630,781.0
1,248,736.0
6,189,010.0
13,137,349.0

公共施設含む

農家戸数			
H30.04	増減数	H30.6.1	前年対比
27	0	27	60.0%
44	-2	42	61.8%
20	0	20	54.1%
120	-1	119	93.0%
211	-3	208	74.8%

＊戸数参考:「個人別乳量報告に係る廃業者等報告書」

平成30年度6月用途別販売実績（速報）

平 成 30 年 7 月 17 日
一般社団法人 中央酪農会議

1)総受託乳量

指定団体	6月 トン	6月 前年同月比 %	4-6月累計 トン	4-6月累計 前年同期比 %
北海道	329,206	103.1 (103.2)	984,434	102.3 (102.5)
青森	5,668	112.7	17,219	110.9
岩手	16,250	99.0	49,700	98.4
宮城	9,370	96.9	28,998	97.0
秋田	2,087	99.1	6,493	97.3
山形	4,959	94.3	15,409	95.3
福島	5,543	95.6	16,926	95.4
東北生乳販連	43,877	99.1	134,743	98.7
茨城	14,077	101.0	43,530	100.8
栃木	26,954	99.2	82,696	98.6
群馬	16,079	92.9	49,841	92.7
埼玉	4,428	94.4	13,806	95.3
千葉	17,035	98.0	53,400	98.8
東京	758	90.3	2,379	91.9
神奈川	2,869	94.2	8,967	94.7
山梨	992	99.9	3,028	101.8
静岡	7,227	98.6	22,601	100.2
関東生乳販連	90,420	97.5	280,248	97.7
新潟	3,531	92.5	11,046	93.9
富山	914	95.8	2,851	96.7
石川	1,579	98.0	4,928	98.2
福井	440	96.5	1,377	96.1
北陸酪連	6,464	94.5	20,201	95.4
長野	7,655	98.1	23,465	98.6
岐阜	2,894	93.5	8,944	93.7
愛知	14,216	96.5	44,805	97.2
三重	4,539	99.8	14,213	101.7
東海酪連	29,303	97.1	91,428	97.9
滋賀	1,417	89.2	4,422	90.5
京都	1,579	96.6	4,953	98.7
大阪	763	95.3	2,416	97.6
兵庫	6,240	90.5	19,918	92.9
奈良	1,989	96.4	6,119	96.7
和歌山	406	91.8	1,305	96.6
近畿生乳販連	12,394	92.3	39,134	94.3
鳥取	4,681	100.8	14,508	101.4
島根	5,480	100.8	17,272	103.5
岡山	7,727	105.0	24,080	105.0
広島	3,806	96.5	11,754	96.8
山口	1,281	98.9	4,015	100.3
中国生乳販連	22,975	101.3	71,629	102.2
徳島	2,464	95.9	7,793	95.9
香川	2,761	92.0	8,686	94.3
愛媛	2,153	92.9	6,849	95.1
高知	1,682	93.9	5,311	94.2
四国生乳販連	9,061	93.6	28,638	94.9
福岡	6,289	99.0	19,915	100.2
佐賀	1,177	100.9	3,815	102.5
長崎	3,112	93.7	10,007	94.7
熊本	20,684	100.3	65,244	101.8
大分	5,811	100.3	18,317	100.8
宮崎	6,384	98.2	20,201	99.2
鹿児島	7,185	100.3	22,941	101.8
九州生乳販連	50,642	99.5	160,440	100.7
都府県	265,135	97.9	826,461	98.5
合計	594,341	100.7 (100.8)	1,810,895	100.5 (100.6)

2)販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	6月 トン	6月 前年同月比 %	4-6月累計 トン	4-6月累計 前年同期比 %
北海道	329,206	103.1	984,434	102.3
東北生乳販連	43,877	99.1	134,743	98.7
関東生乳販連	90,420	97.5	280,248	97.7
北陸酪連	6,464	94.5	20,201	95.4
東海酪連	29,303	97.1	91,428	97.9
近畿生乳販連	12,394	92.3	39,134	94.3
中国生乳販連	22,975	101.3	71,629	102.2
四国生乳販連	9,061	93.6	28,638	94.9
九州生乳販連	50,642	99.5	160,440	100.7
都府県	265,135	97.9	826,461	98.5
合計	594,341	100.7	1,810,895	100.5

注１）この速報は、キロ（kg）で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。
注２）総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比
注３）中国は公共の乳量が含まれています。

3) 飲用牛乳等向け

指定団体	6月		4-6月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	80,078	112.4	205,497	107.3
東北生乳販連	32,903	97.7	98,258	99.2
関東生乳販連	71,302	98.5	215,347	99.1
北陸酪連	6,155	94.9	19,210	95.7
東海酪連	24,460	97.3	74,929	97.9
近畿生乳販連	11,601	92.5	36,434	94.7
中国生乳販連	17,040	102.4	52,659	103.5
四国生乳販連	8,616	93.6	27,285	94.8
九州生乳販連	38,094	100.1	113,368	101.7
都府県	210,171	98.2	637,492	99.2
合計	290,249	101.7	842,989	101.1

4) はっ酵乳等向け

指定団体	6月		4-6月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	2,027	111.8	5,896	114.8
東北生乳販連	7,509	106.2	22,751	100.9
関東生乳販連	12,664	93.8	38,238	93.8
北陸酪連	248	98.5	771	97.7
東海酪連	4,316	97.2	13,021	97.1
近畿生乳販連	758	93.6	2,368	93.2
中国生乳販連	5,351	102.1	15,524	101.0
四国生乳販連	322	98.3	972	98.2
九州生乳販連	7,912	97.9	23,304	98.5
都府県	39,080	98.4	116,949	97.4
合計	41,107	99.0	122,846	98.1

5) 脱脂粉乳・バター等向け

指定団体	6月		4-6月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	108,498	100.4	350,196	100.7
東北生乳販連	2,731	102.0	11,459	91.5
関東生乳販連	4,998	96.6	21,977	92.0
北陸酪連	27	58.3	100	66.4
東海酪連	326	79.4	2,816	103.9
近畿生乳販連	0	−	150	89.2
中国生乳販連	264	62.4	2,273	94.3
四国生乳販連	0	−	0	−
九州生乳販連	2,150	98.5	15,581	98.3
都府県	10,495	96.2	54,356	94.2
合計	118,994	100.0	404,553	99.8

6) 液状乳製品向け(生ｸﾘｰﾑ等向け)

指定団体	6月		4-6月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	105,636	102.0	322,741	102.6
東北生乳販連	569	88.3	1,740	98.2
関東生乳販連	1,397	85.6	4,494	91.5
北陸酪連	28	62.0	103	73.1
東海酪連	82	132.5	267	110.7
近畿生乳販連	33	47.1	177	62.1
中国生乳販連	286	84.9	1,067	82.7
四国生乳販連	119	82.6	363	92.9
九州生乳販連	2,386	94.8	7,889	98.7
都府県	4,901	89.9	16,100	94.6
合計	110,537	101.4	338,841	102.2

7) チーズ向け

指定団体	6月		4-6月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	32,966	95.1	100,103	96.9
東北生乳販連	166	80.6	535	79.5
関東生乳販連	59	106.9	191	102.6
北陸酪連	6	107.9	16	109.6
東海酪連	119	93.5	395	84.0
近畿生乳販連	1	69.7	4	80.8
中国生乳販連	34	100.9	105	105.6
四国生乳販連	4	97.7	18	166.6
九州生乳販連	99	104.2	298	101.6
都府県	488	92.4	1,564	89.1
合計	33,454	95.1	101,667	96.8

8) 全乳哺育向け

指定団体	6月		4-6月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	0	−	0	−
東北生乳販連	0	−	0	−
関東生乳販連	0	−	0	−
北陸酪連	0	−	0	−
東海酪連	0	−	0	−
近畿生乳販連	0	−	0	−
中国生乳販連	0	−	0	−
四国生乳販連	0	−	0	−
九州生乳販連	0	−	0	−
都府県	0	−	0	−
合計	0	−	0	−

注１）この速報は、キロ（kg）で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注２）北海道の液状乳製品向け(生ｸﾘｰﾑ等向け)には、その他向けが含まれています。

生乳検査実績速報

＊＊平成30年6月分＊＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率3.81％（前年同月±0.00％）、乳蛋白質率3.25％（前年同月比-0.03％）、無脂固形分率8.67％（前年同月比-0.05％）、体細胞数32.7万/ml（前年同月比+2.0万/ml）、細菌数5.7万/ml（前年同月比-8.5万/ml）であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

（単位：戸・％・万/ml）

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪神	27	27	3.80	3.81	3.21	3.23	8.61	8.63	34.4	29.8	10.0	9.4
播州	42	42	3.88	3.88	3.27	3.30	8.66	8.68	35.5	36.7	6.2	12.0
丹但	20	20	3.70	3.80	3.38	3.39	8.83	8.82	34.8	32.7	4.1	6.7
淡路	117	117	3.81	3.83	3.23	3.27	8.65	8.69	30.9	33.5	4.7	9.5
県平均	206	206	3.81	3.84	3.25	3.28	8.67	8.69	32.7	33.6	5.7	9.7

『地域別乳質改善目標達成割合』

（単位：件・％）

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率3.7%以上	乳蛋白質率3.2%以上	無脂固形分率8.7%以上	体細胞数25万未満	細菌数10万未満
阪神	81	65.4	64.2	25.9	35.8	72.8
播州	126	70.6	59.5	30.2	38.1	88.1
丹但	60	53.3	78.3	66.7	50.0	91.7
淡路	351	66.7	55.6	42.5	47.0	91.5
県平均	618	66.0	59.7	40.1	44.0	88.3

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

（単位：件・％・万/ml）

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫六甲	81	3.80	65.4	3.21	64.2	8.61	25.9	34.4	35.8	10.0	72.8
みのり	27	3.73	48.1	3.19	37.0	8.57	22.2	41.0	37.0	6.5	81.5
東播	93	3.87	76.3	3.26	63.4	8.66	31.2	34.3	37.6	6.3	89.2
西播	6	4.79	83.3	3.77	100.0	9.08	50.0	29.4	50.0	3.4	100.0
北但	3	4.00	100.0	3.37	100.0	8.80	100.0	65.3	0.0	3.8	100.0
兵庫丹但	51	3.66	47.1	3.38	76.5	8.84	66.7	34.7	49.0	4.5	90.2
たじま	6	3.85	83.3	3.34	83.3	8.71	50.0	20.2	83.3	1.2	100.0
淡路日の出	57	3.74	50.9	3.15	29.8	8.57	22.8	31.2	43.9	3.3	98.2
淡路島	294	3.82	69.7	3.25	60.5	8.67	46.3	30.8	47.6	5.0	90.1
県平均	618	3.81	66.0	3.25	59.7	8.67	40.1	32.7	44.0	5.7	88.3

淡路家畜市場情報

平成30年6月9日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	13	279,969	340,200	137,160			56		
		前回	8	264,600	289,440	241,920			58	15,369	5.8%
		前年	20	276,048	330,480	1,080			58	3,921	1.4%
	オス	今回	13	313,366	412,560	176,040			56		
		前回	11	303,578	360,720	218,160			56	9,788	3.2%
		前年	16	345,060	395,280	83,160			55	-31,694	-9.2%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回	1	115,560	115,560	115,560			59		
		前回									
		前年									
	オス	今回	5	169,776	181,440	156,600			56		
		前回	7	139,011	180,360	87,480			55	30,765	22.1%
		前年	2	88,020	114,480	61,560			58	81,756	92.9%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

＊前回は平成30年5月25日・前年は平成29年6月9日

平成30年6月25日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	4	307,260	344,520	282,960			54		
		前回	13	279,969	340,200	137,160			56	27,291	9.7%
		前年	16	32,168	357,480	201,960			57	275,092	855.2%
	オス	今回	11	337,942	379,080	184,680			56		
		前回	13	313,366	412,560	176,040			56	24,576	7.8%
		前年	11	379,865	421,200	318,600			54	-41,923	-11.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回	1	115,560	115,560	115,560			59	-115,560	-100.0%
		前年									
	オス	今回	5	144,720	174,960	110,160			44		
		前回	5	169,776	181,440	156,600			56	-25,056	-14.8%
		前年	5	122,256	142,560	90,720			54	22,464	18.4%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

＊前回は平成30年6月9日・前年は平成29年6月25日

隣県家畜市場情報

乳用種（雄のみ）

年	月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計（全国）	
		平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
27年次		64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664
28年次		96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177
29年次		92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5	104,079	84	130,527	113	109,550	23	121,329	8,616
	6	108,921	34	135,761	115	136,234	14	137,632	8,181
	7	120,508	55	124,506	134	104,040	15	118,899	8,817
	8	107,178	67	107,911	158	115,020	18	97,028	10,455
	9	84,925	82	90,397	144	60,619	31	92,868	9,800
	10	86,820	108	92,828	165	78,259	26	105,133	10,135
	11	88,800	90	86,446	188	88,221	35	118,793	9,574
	12	85,919	119	90,025	132	65,010	36	120,568	9,089
30	1	86,606	110	107,563	99	62,640	18	124,526	9,214
	2	98,131	87	102,261	118	85,888	19	137,691	8,068
	3	117,531	80	123,281	141	98,451	19	158,390	8,423
	4	126,865	62	146,520	105	121,440	27	161,422	8,179
	5	146,442	74	159,470	105	167,091	14	156,889	8,845
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年	月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計（全国）	
		平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
27年次		192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751
28年次		257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606
29年次		266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5	306,824	291	305,832	327	338,071	239	297,879	13,124
	6	325,804	200	320,555	415	357,072	180	296,850	11,689
	7	301,414	207	296,951	349	362,240	162	282,085	11,588
	8	292,081	283	283,966	528	339,607	173	248,789	13,226
	9	254,365	260	254,589	393	279,054	240	230,024	12,678
	10	230,264	295	209,166	391	271,433	205	222,022	14,025
	11	217,210	266	201,102	487	268,621	242	227,183	13,614
	12	221,570	375	213,329	452	275,218	268	224,106	13,490
30	1	224,052	410	214,641	317	283,535	244	220,702	13,957
	2	226,646	380	215,661	401	279,711	244	228,402	12,269
	3	245,195	347	227,786	515	269,499	237	247,329	13,096
	4	263,669	284	260,348	364	315,485	199	271,257	12,147
	5	291,953	275	282,132	330	309,012	90	277,110	12,594
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※　生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

北海道産牛価格情勢

（平成30年7版）

ホクレン家畜市場情報　（初妊牛ホル）　30年6月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比（参考）		
ホクレン北見市場	4 日	920,000 円	830,000 円	90,000	110.8 %
ホクレン十勝市場	5 日	983,000 円	878,000 円	105,000	112.0 %
ホクレン南北海道市場	8 日	826,000 円	829,000 円	−3,000	99.6 %
ホクレン釧路市場	13 日	924,000 円	812,000 円	112,000	113.8 %
ホクレン根室市場	14 日	859,000 円	866,000 円	−7,000	99.2 %
ホクレン豊富市場	15 日	901,000 円	866,000 円	35,000	104.0 %
平　　均		922,000 円	857,000 円	65,000	107.6 %

7月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン南北海道市場	6 日	826,000 円	733,000 円
ホクレン釧路市場	11 日	924,000 円	796,000 円
ホクレン根室市場	12 日	859,000 円	819,000 円
ホクレン十勝市場	18 日	983,000 円	903,000 円
ホクレン北見市場	19 日	920,000 円	840,000 円
ホクレン豊富市場	20 日	901,000 円	876,000 円
平　　均		922,000 円	863,000 円

8月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	3 日	782,000 円
ホクレン豊富市場	17 日	850,000 円
ホクレン釧路市場	22 日	776,000 円
ホクレン根室市場	23 日	802,000 円
ホクレン十勝市場	29 日	861,000 円
ホクレン北見市場	30 日	816,000 円
平　　均		826,000 円

兵庫県酪農協　購買課

北海道乳牛産地情報

（平成３０月７月１日現在）

事務所	畜種	相場（万円）	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	５０～６０	横這い	札幌管内の６月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計 102.1%、累計で 101.0%、苫小牧管内月計で 103.0%、累計で 100.7%の実績となっております。 ７月の初妊牛動向といたしまして、９月分娩予定の牛が中心となります。６月のこの地域の乳牛市場の平均が下がったことや、夏の輸送となることから、相場はやや弱含みで推移するものと思われます。F1 腹や雌雄選別腹が購買の中心となります。乳量成績や体型審査成績を持った高能力牛が出てくる地域ですので、ご希望があれば、お問い合わせください。育成牛につきましては、引き続き道内各地の育成農家を中心に購買をおこなっており、横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	７８～８８	やや弱含み	
	経産牛	４５～５０	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	６０～７０	横這い	根釧管内の６月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で 101.6%、累計で 101.4%、中標津管内月計で 101.8%、累計で 101.7%の実績となっております。 ７月の初妊牛動向といたしまして、10月分娩予定の牛が中心の動きとなります。６月の管内乳牛市場は上物とスソ物に価格差がついた事から弱含みとなりましたが、引続き道内の大型牧場、規模拡大農家、新規就農農家向けの購買が見込まれる事から相場は横這いで推移するものと思われます。資源状況としては比較的余裕があり、雌雄選別腹についてもご希望に添える状況となっております。経産牛については状態の良い牛の出回りは非常に少なく相場も高値を維持しております。
	初妊牛	８５～９５	横這い	
	経産牛	６０～７０	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	５５～６５	横這い	帯広管内の６月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で 105.1%、累計で 104.2%の実績となっております。 ７月の初妊牛動向といたしまして、９月～10月分娩予定の牛が中心となります。６月の同地域の乳牛市場がやや強含みで推移し、また７月の市場が下旬まで開催されないことから、庭先選畜購買も高値を維持した横這いで推移し、F1 腹がメインで取引されるものと思われます。雌雄選別腹は６月の同地域の乳牛市場で出品頭数が少なく、高値をつけたことから、やや強含みとなることが予測されます。和牛受精卵移植腹も高値が続いていることから、110 万円以上での取引となっています。経産牛も産歴の少ない牛は高値で取引されていますので、初妊牛同様横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	８５～９５	横這い	
	経産牛	５０～６０	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	５０～６０	横這い	道北管内の６月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で 102.4%、累計で 100.4%、北見管内では月計で 102.9%、累計で 101.6%の実績となっております。 ７月の初妊牛動向といたしまして、9～10月分娩の腹が中心の動きとなります。先月から夏時期の分娩牛の取引が中心ではありましたが導入需要は活発で、相場は大きくは下がりませんでした。この傾向は続く見込みで相場も横這いのまま推移すると思われます。F1 腹、雌雄選別腹共に頭数は出回っておりますが後継牛確保を目的とした需要の為、雌雄選別腹のほうが引き合い強く、若干高値で推移するものと思われます。
	初妊牛	８３～８８	横這い	
	経産牛	５０～６０	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	５５～６５	横這い	道内の６月中旬までの生乳生産量前年比は 102.9%、累計で 102.2%の実績となっております。 ７月の初妊牛動向といたしまして、９月～10月分娩腹中心で取引されます。例年、都府県では残暑となる９月の分娩腹の導入意欲は低くなることから、価格的に下げる展開となります。しかし、道内酪農家の生乳生産意欲は旺盛となっていることまた、道内外の規模拡大需要も重なり初妊牛価格については、大きな変動はないものと思われます。初妊牛の資源状況と致しましては、平成29年度の道内各地域における育成牛市場での出品頭数（合計）が前年対比 106%と大きく上回っていることから、今後の初妊牛の資源としては、授精腹により多少異なるものの、全体的に増えてくるものと予想されます。
	初妊牛	８５～９５	横這い	
	経産牛	５５～６５	横這い	

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

札　幌　支　所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所　☎（0154）52-1232
帯広事務所　☎（0155）37-6051
道北事務所　☎（01654）2-2368

牛群成績平均情報１

平成 30年 03月分

兵庫

全 121 戸中 104 戸集計

年間累計	kg （１戸平均）	千円 （１戸平均）	生乳100kgに要した濃厚飼料費
乳量	41,675,918 (400,730)	4,536,259 (43,618)	2180 円
前年対比	98 %	前年対比 99 %	
濃厚飼料	17,471,155 (167,992)	908,675 (8,737)	乳飼比 20 %
前年対比	99 %	前年対比 98 %	
	乳代 － 濃厚飼料費	3,627,584 (34,881)	飼料効果 2.4
		前年対比 99 %	

検定日成績（１戸平均）	１日成績 検定乳量	出荷乳量	濃厚飼料給与量	乳代	濃厚飼料費	1頭1日当たり平均 乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	1kg単価 乳価	濃厚飼料
	Kg	Kg	Kg	円	円	%	%	%	円	円
今月	1152	1149	468	125596	24497	4.06	3.36	8.84	112	55
前月	1084	1073	450	118529	23566	4.11	3.41	8.86	112	55
３カ月	1082	1075	446	118373	23356	4.11	3.43	8.85	112	55
過去１カ年	1108	1095	464	120652	24128	3.99	3.34	8.78	112	55

前回からの日数	検定から発行までの日数
平均 29 日	平均 12.3 日

移動13カ月成績 検定月	牛群構成 戸数	経産牛	搾乳牛	搾乳牛率	搾乳日数	分娩 頭数	初産	雌	検定乳量 出荷乳量×100	検定日成績／搾乳牛１頭平均 標準乳量	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	MUN	P/F比	濃厚飼料給与量
	戸	頭	頭	%	日	頭	頭	頭	%	Kg	Kg	%	%	%	mg/dl		Kg
3	116	5165 (44.5)	4495 (38.8)	89	219	323 (3.1)	106 (1.0)	163 (1.6)	101	32.8	28.8	4.02	3.38	8.83	11.5	0.84	11.8
4	114	5142 (45.1)	4532 (39.8)	90	226	275 (2.6)	107 (1.0)	141 (1.4)	102	33.2	29.1	3.98	3.32	8.78	11.5	0.83	11.9
5	113	5173 (45.8)	4496 (39.8)	90	232	256 (2.5)	113 (1.1)	131 (1.3)	101	33.4	28.9	3.89	3.29	8.75	11.3	0.85	11.8
6	113	5106 (45.2)	4371 (38.7)	89	243	256 (2.5)	90 (0.9)	142 (1.4)	101	33.4	28.6	3.90	3.30	8.77	11.5	0.85	11.8
7	112	5111 (45.6)	4246 (37.9)	87	245	345 (3.3)	98 (0.9)	168 (1.6)	102	32.6	27.4	3.87	3.22	8.67	11.9	0.83	11.7
8	114	5177 (45.4)	4296 (37.7)	85	242	392 (3.8)	115 (1.1)	204 (2.0)	102	32.6	27.2	3.85	3.22	8.65	11.3	0.84	11.6
9	112	5111 (45.6)	4222 (37.7)	85	235	445 (4.3)	113 (1.1)	237 (2.3)	102	34.1	28.4	3.89	3.32	8.77	10.3	0.85	11.8
10	110	4974 (45.2)	4100 (37.3)	85	229	394 (3.8)	124 (1.2)	207 (2.0)	101	33.8	28.3	4.00	3.38	8.82	10.7	0.85	13.4
11	112	5060 (45.2)	4168 (37.2)	86	226	392 (3.8)	97 (0.9)	205 (2.0)	102	33.7	28.5	4.07	3.43	8.87	11.0	0.84	11.7
12	110	4939 (44.9)	4119 (37.4)	86	225	424 (4.1)	134 (1.3)	217 (2.1)	101	33.5	28.7	4.13	3.45	8.86	11.5	0.84	11.8
1	108	4922 (45.6)	4120 (38.1)	85	225	395 (3.8)	119 (1.1)	203 (2.0)	101	33.1	28.5	4.10	3.42	8.83	11.9	0.83	11.7
2	106	4729 (44.6)	4055 (38.3)	87	227	280 (2.7)	81 (0.8)	140 (1.3)	102	32.7	28.3	4.11	3.41	8.86	12.4	0.83	11.8
3	104	4789 (46.0)	4157 (40.0)	89	230	170 (1.6)	48 (0.5)	83 (0.8)	102	33.1	28.8	4.06	3.36	8.84	11.7	0.83	11.7
平均・計	104	4559 (43.8)	4033 (38.8)	87	232	4177 (40.2)	1297 (12.5)	2158 (20.8)	102	33.3	28.4	3.99	3.34	8.78	11.3	0.84	11.9
前年成績	104	4690 (45.1)	4142 (39.8)	87	225	4250 (40.9)	1320 (12.7)	2089 (20.1)	103	32.9	28.2	3.97	3.34	8.78	10.9	0.84	11.7

()内は、１戸平均。

検定日乳量階層	頭数	１産 MAX:29.1 DAY:70 MID:28.0 LP:97.0 21日以下	22日～	50日～	100日～	200日～	300日以上	２産以上 MAX:35.3 DAY:28 MID:30.2 LP:91.9 21日以下	22日～	50日～	100日～	200日～	300日以上
Kg	頭	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
55以上	39								.4	.3	.2		
50	72							.2	.6	.7	.3		
45	164			.1	.1			.2	.7	1.5	1.1	.1	
40	300		.1	.3	.3			.3	1.2	2.1	2.1	.6	.1
35	512		.4	.7	1.4	.6	.3	.6	.8	2.1	3.8	1.3	.2
30	767	.2	.7	1.4	2.2	1.9	.7	.4	.7	1.7	4.9	2.9	.8
25	822	.3	.3	1.3	2.3	2.2	1.8	.3	.4	.8	4.1	3.9	2.1
20	672	.1	.2	.5	1.4	1.7	2.9	.2	.1	.4	1.9	2.7	4.1
15	460	.1	.1	.2	.5	.5	2.4	.1		.2	1.1	1.6	4.2
15未満	349		.1	.1	.1	.2	1.5		.1	.1	.6	1.3	4.2
頭数		33	81	194	346	294	398	95	209	416	833	603	655
標準乳量		31.7	32.2	32.0	34.1	35.4	32.8	33.3	33.7	32.6	32.5	33.5	32.6
平均乳量		26.1	30.4	30.6	29.7	27.5	21.5	36.4	40.8	38.7	32.2	26.6	19.4
乳脂率 %		4.58	3.75	3.77	3.89	4.12	4.37	4.85	4.14	3.82	3.93	4.08	4.36
蛋白質率 %		3.32	3.01	3.09	3.29	3.47	3.78	3.31	3.03	3.05	3.30	3.53	3.80
無脂固形分率 %		8.85	8.65	8.72	8.89	9.04	9.27	8.76	8.52	8.57	8.75	8.95	9.11
MUN mg/dl		11.3	10.8	11.7	12.3	12.2	11.7	9.7	10.6	11.5	12.1	11.8	12.0
濃厚飼料給与量		10.3	11.8	11.7	12.0	11.5	10.8	11.7	12.1	12.3	12.2	12.0	10.9
BC管理		3.00	2.50	2.80	3.00	3.18	2.92	4.00	2.71	2.60	2.89	2.91	3.33

参考情報[MAX:ピーク時乳量(kg), DAY:泌乳ピークに要した日数(日), MID:分娩後160日目乳量(kg), LP:泌乳持続性]

年間305日成績	頭数	240～305日間 成績 乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	補正乳量
	頭	Kg	%	%	%	Kg
１産	1300	8511	3.87	3.26	8.80	10214
２産	938	9683	3.91	3.29	8.75	10587
３産以上	1179	9862	3.93	3.22	8.63	10014
平均又は合計	3417	9299	3.90	3.26	8.72	10247

		直近体重 頭数	平均	BC管理 頭数	平均
		頭	kg	頭	
未経産		3	573		
泌乳	１産	773	612	59	2.93
泌乳	２産	619	642	53	2.89
泌乳	３産以上	931	657	61	3.07
乾乳		84	671		

搾乳管理	
ユニット	5.1 台
1回平均	92 分
1頭平均	12 分
	時間 乳量
1回目	47 % 47 %
2回目	53 % 53 %

搾乳管理は、２回搾乳農家で集計

検定日牛群構成	頭数	未経産牛	1産	2産	3産	4産	5産以上	経産牛平均	除籍牛平均
年齢		歳 月 1-6	歳 月 2-9	歳 月 3-11	歳 月 5-1	歳 月 6-3	歳 月 8-5	歳 月 4-6	歳 月 5-6
比率 (未経産牛含む)	4789 頭 (5205)	- % (8)	32 % (30)	26 % (24)	19 % (18)	11 % (10)	11 % (10)	産次 2.5	産次 3.1

発行：(一社)家畜改良事業団

牛群成績平均情報２

平成 30年 03月分

兵庫

全 121 戸中 104 戸集計

移動13ヵ月成績 検定月	授精状況 授精	肉牛交配率	授精回数 平均	授精回数 3回以上	初回授精 受胎率	初回授精 開始	未経産授精開始	経産JMR	管理状況 妊娠	空胎日数 平均	空胎日数 59以下	60～	85～	115～	145以上	乾乳日数 平均	乾乳日数 39以下	40～69	70以上	90以上
	頭	%	回	%	%	日	月齢	日	頭	日	%	%	%	%	%	日	%	%	%	%
3	990 (9.5)	26	2.7	39	37	80	14.7	54	2345 (20.2)	179	7	15	14	13	50	61	12	65	22	10
4	922 (8.9)	24	2.8	38	37	81	14.7	54	2447 (21.5)	175	7	16	15	13	49	61	12	66	22	10
5	907 (8.7)	25	2.8	41	31	87	15.5	52	2543 (23.4)	173	7	17	16	13	47	61	12	66	22	10
6	907 (8.7)	23	2.9	43	29	85	14.5	53	2740 (24.2)	173	7	17	16	13	48	61	12	66	22	10
7	764 (7.3)	26	2.9	44	26	82	13.8	54	2816 (25.1)	172	7	16	16	13	47	60	13	65	21	10
8	703 (6.8)	29	3.0	46	28	84	14.8	51	2820 (24.7)	174	7	16	16	13	48	60	14	65	21	10
9	1011 (9.7)	28	3.0	45	30	84	13.8	50	2691 (24.0)	175	7	15	16	14	49	59	15	66	20	9
10	1004 (9.7)	27	2.9	45	34	77	13.2	58	2333 (21.2)	175	7	15	16	14	49	59	15	66	19	9
11	997 (9.6)	24	2.9	44	44	86	14.3	60	2211 (19.7)	180	7	13	15	13	51	58	15	66	19	9
12	1065 (10.2)	27	2.8	41	42	83	13.8	60	2139 (19.4)	184	7	12	14	12	54	58	15	67	18	8
1	963 (9.3)	28	2.9	41	27	87	13.2	56	2196 (20.3)	185	7	13	14	12	53	58	15	67	19	9
2	926 (8.9)	26	2.9	42	3	83	13.6	59	2113 (19.9)	185	8	15	13	12	53	58	16	66	18	9
3	534 (5.1)	27	2.8	43	0	83	13.8	59	2208 (21.2)	180	8	16	14	11	50	58	15	66	19	9
平均・計	11159 (107.3)	26	2.9	19	33	83	14.2	53	2385 (22.9)	176	7	15	15	13	49	59	14	66	21	9
前年成績	11242 (108.1)	28	2.8	18	35	83	14.5	53	2390 (23.0)	173	7	16	15	13	49	62	11	64	24	11

() 内は、１戸平均。

項目別種雄牛成績	種雄牛区分別雌牛頭数 頭数	成績あり	海外種雄牛	後代検定	その他	種雄牛情報 総合指数（ＮＴＰ）	E 乳量	B 乳脂率	B 蛋白質率	V 無脂固形分率	乳代効果
	頭	%	%	%	%		Kg	%	%	%	円
授精・妊娠	3803	47	20	6	47	+2294	+999	+0.11	+0.06	+0.10	+110534
12ヵ月未満(生産雌牛)	918	61	27	7	32	+1951	+830	+0.10	+0.07	+0.11	+90354
未経産	416	74	31	18	8	+1451	+631	+0.05	+0.04	+0.05	+70943
１産	1556	76	26	4	20	+1100	+589	-0.03	0.00	-0.03	+57819
２産以上	3233	75	27		25	+837	+448	-0.02	+0.01	+0.01	+44092

注） 乳代効果と無脂固形分率には海外種雄牛は含まれておりません

初産分娩月齢	21以下	22～	24～	26～	28～	30以上	初産分娩月齢（予定）	合計頭数
	6 %	40 %	29 %	15 %	6 %	5 %	25 (25)	1203 頭

分娩間隔	頭数	365日未満	365日～	395日～	425日～	455日以上	分娩間隔（予定）
	頭	%	%	%	%	%	日
２産	983	26	17	13	11	34	441 (463)
３産	733	25	17	14	11	34	444 (454)
４産以上	822	20	19	15	9	38	450 (464)
平均又は合計	2538	24	17	14	10	35	445 (461)

月別分娩予定頭数	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	合計頭数
頭数（初産）	7 % (9)	8 % (11)	7 % (9)	12 % (14)	16 % (16)	19 % (16)	19 % (15)	11 % (9)	2092 頭 (179)

月	経産牛1頭当たり年間成績 乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	P/F比
	kg	%	%	%	
3	9054	3.97	3.35	8.79	0.84
4	8957	3.92	3.35	8.80	0.86
5	9082	3.98	3.35	8.79	0.84
6	9107	3.97	3.35	8.79	0.84
7	9106	3.98	3.35	8.79	0.84
8	8989	3.93	3.35	8.79	0.85
9	9011	3.93	3.35	8.79	0.85
10	9148	3.98	3.35	8.79	0.84
11	9164	3.98	3.35	8.80	0.84
12	9168	3.99	3.35	8.80	0.84
1	9160	3.98	3.35	8.79	0.84
2	9140	4.00	3.35	8.79	0.84

授精報告					
未経産	250 頭	79 %			
経産	3572 頭	75 %			

頭数分布		頭数	分娩後日数 59日以下	60～79日	80～99日	100～119日	120日以上
		頭	%	%	%	%	%
今月の未授精牛		1217	52	14	9	5	21
初回授精	前月	305	24	34	19	9	14
初回授精	３ヵ月	1008	22	33	20	10	14
初回授精	過去1ヵ年	2964	25	31	19	10	15

繁殖に供さない牛 16 頭

年間追加除籍牛	追加 頭数	追加比率	除籍 乳器障害（乳房炎）	繁殖障害	肢蹄故障	消化器病	起立不能	疾病計	低能力	死亡	乳用売却	計	除籍率
	頭	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	頭	%
未経産	409	7.9	7.9 ( )		5.3	5.3	10.5	23.7		15.8	52.6	38	1
１産	888	17.1	15.0 (5.0)	7.3	4.2	4.2	10.0	20.0	19.2	11.9	26.2	260	5
２産	8	0.2	18.9 (6.6)	11.3	3.6	2.6	10.6	19.5	15.6	8.9	25.5	302	6
3産以上	17	0.3	15.7 (6.4)	9.6	4.2	4.9	7.3	18.0	17.9	11.2	26.7	834	16
除籍日までの年齢(歳-月)			5-3 (5-4)	6-0	5-4	5-2	4-10	5-1	5-9	5-4	5-7		
除籍日までの分娩後日数			269 (279)	467	270	242	263	258	391	291	363		

注） 除籍牛平均には乳用売却は含まれておりません

発行：(一社)家畜改良事業団

ＮＴＰ上位４０位以内　【新規牛は除く】

～ 乳 用 牛 改 良 情 報 ～

兵庫県酪農協　生産指導部　購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛（本組合で扱いがあるもの）

総合指数順　（ＮＴＰ）

《2018-2》

供給難易	NTP順位	略号	種雄牛名号	長命連産効果 (円)	乳代効果 (円)	総合指数 (GNTP)	生産能力のEBV（推定育種価） M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体型のEBV 体格と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定 得点	体細胞スコア	血統情報 父牛 × 母系祖父	管理形質 産子難産率	在群期間	泌乳持続性
A	1	JP3H55926	ｳｲﾝｻﾞｰﾏﾅｰ SW ﾅｲｱｸﾞﾗ ET	183,571	183,571	2,907	1,819	79	0.09	168	0.07	54	-0.03	0.48	-0.37	0.18	0.26	0.39	2	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	7	101	0.18
A	2	JP4H55951	ﾃｲｰﾕｰ ﾚﾃﾞｨｽﾏﾅｰ ｼﾞｮｰｼﾞｱ	66,750	129,839	2,766	1,243	65	0.17	114	0.05	51	0.12	0.45	0.98	0.79	1.00	1.07	2	ﾋﾞｰｺﾝ × ｱｰﾆｯﾄ	7	100	0.04
A	3	JP5H55552	ｻﾝﾜｰﾄﾞ ｽｰﾊﾟｰ ｴﾓｰｼｮﾝ ET	127,701	150,210	2,653	1,526	60	0.03	145	0.02	48	0.01	-0.07	0.62	0.60	0.85	0.69	2	ｽｰﾊﾟｰ × ﾊﾞｸｽﾀｰ	7	102	1.75
A	4	JP3H55839	ﾃｲｰﾕｰ ﾅｲﾄ ｴｸﾘﾌﾟｽ ET	108,328	154,559	2,557	1,638	33	-0.29	164	0.19	54	0.02	0.41	0.23	0.31	1.06	0.91	1	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ﾏｽｺｰﾙ	6	102	-0.49
A	5	JP4H56400	ﾍﾞｲﾘｯﾁﾗﾝﾄﾞ ｽｰﾀﾞﾝ ﾊﾟｳｴﾙ ET	88,835	102,940	2,555	873	76	0.41	74	0.04	37	0.09	1.63	0.32	1.36	1.03	1.33	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	7	102	0.28
A	6	JP3H55953	ﾚｲﾊﾞｰ ﾅｲｱｸﾞﾗ ﾊﾟﾘｯｼｭ ET	78,474	119,574	2,540	1,079	53	0.13	118	0.23	46	0.13	0.50	0.10	0.46	1.44	0.94	2	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ｼｮｯﾃﾙ	8	100	1.09
A	7	JP3H56191	ｶﾄﾑ ｻﾝﾀﾞｰﾊﾞｰﾄﾞ	67,632	110,366	2,511	973	63	0.26	102	0.13	43	0.12	1.72	0.80	1.23	1.13	1.49	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ｱﾚｷｻﾝﾀﾞｰ	6	100	1.80
A	10	JP4H56365	ﾃｲｰﾕｰ ﾌｪｲｽ ﾌｧｰｽﾄﾎﾞｰｲ	113,141	84,767	2,276	665	61	0.37	68	0.14	31	0.11	1.05	0.29	-0.28	0.96	0.97	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾌﾞﾗﾈｯﾄ	6	103	0.68
A	11	JP3H56115	ﾋﾟｭｱｿｳﾙ ﾛﾐｵ ﾊﾞｯｼﾞｵ	51,357	87,633	2,264	706	36	0.09	97	0.39	47	0.25	0.22	0.66	0.36	0.69	0.63	3	ﾄﾞｰﾍﾞﾙﾏﾝ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	6	101	1.55
A	12	JP3H56258	ﾚﾃﾞｨｽﾏﾅｰ ｱﾄﾞﾐﾚｰｼｮﾝ	73,855	112,337	2,236	1,145	53	0.08	98	-0.05	38	0.01	0.42	0.57	0.31	0.56	0.72	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ｴｱﾚｲﾄﾞ	6	101	0.21
A	13	JP5H56250	ｸﾛｹｯﾄ ｴｰｶｰｽ M ｴｸｻﾞｲﾙ	38,203	142,052	2,197	1,473	57	0.00	119	-0.02	50	0.02	0.92	0.07	0.70	-0.47	-0.05	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ｵｰﾏﾝ	7	99	1.00
A	14	JP3H56376	ﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟ ｷｭｰﾄﾏﾝ ET	64,233	109,952	2,181	1,172	35	-0.10	108	0.01	39	0.01	1.52	0.38	1.40	1.71	1.67	2	ﾌﾞｯｹﾑ × ｼｮｯﾄｱﾙ	7	101	1.13
A	15	JP3H56451	ﾊﾟｲﾝﾂﾘｰ ﾅｯｸﾙ ﾎﾞｰｲ	41,626	65,391	2,180	376	64	0.52	54	0.23	34	0.24	1.02	0.54	1.64	1.49	1.50	3	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾗｳﾝﾄﾞｱｯﾌﾟ	7	99	-0.55
A	16	JP3H56137	ｹﾈｶﾗﾝﾄﾞ ﾍﾞﾝﾅｰ ﾍﾞﾙ ｽｶｲ ET	90,802	121,543	2,160	1,349	31	-0.22	119	0.00	42	-0.03	0.52	1.13	0.61	1.09	1.23	2	ｱﾙﾀｱｲｵﾀ × ｼﾞｪｯﾄｽﾄﾘｰﾑ	5	101	0.86
A	18	JP5H56304	ｺﾞｰﾙﾄﾞ N SW ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ET	61,715	107,183	2,130	999	50	0.12	102	0.13	37	0.06	0.44	0.22	1.22	1.04	0.99	2	ｵｰﾏﾝ × ﾗﾓｽ	6	100	0.59
A	19	JP5H55973	ｽﾄﾚﾁｱ ｴｳﾞｧﾝ	77,971	97,549	2,103	934	35	0.01	99	0.16	39	0.09	0.46	0.69	0.17	0.85	0.93	2	ﾋﾞｰｺﾝ × ｼﾞｬｽﾃｲｽ	6	101	1.89
A	20	JP3H55056	ﾓｰﾆﾝｸﾞﾋﾞｭｰ SHTL ｿｸﾗﾃｽ ET	117,004	137,854	2,102	1,600	33	-0.27	126	-0.13	37	-0.14	0.68	1.10	0.35	1.17	1.25	2	ｿｸﾗﾃｽ × ｼｮｯﾃﾙ	6	103	2.45
A	21	JP5H55723	ﾓﾝﾏ ﾌﾞﾘｽｸ ET	42,165	161,323	2,098	1,708	60	-0.05	140	-0.05	51	-0.03	-0.25	-0.75	-0.23	0.21	-0.32	3	ﾌﾟﾗﾈｯﾄ × ﾄｲｽﾄｰﾘｰ	6	100	2.61
A	22	JP5H56263	HMU ｼﾞｭﾘｰ ｵｰｽ ﾎﾞﾘﾊﾞｰ	73,126	148,541	2,082	1,712	41	-0.23	128	-0.17	43	-0.12	-0.11	0.38	0.26	-0.04	-0.05	2	ｵｰﾏﾝ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	6	101	0.68
A	23	JP4H54859	ﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝ ﾎﾞﾙﾄﾝ ET	55,205	29,952	2,034	-146	73	0.86	19	0.35	29	0.37	0.39	-0.05	0.13	0.50	0.38	3	ﾊﾞｸｽﾀｰ × ｼﾞｬｽﾃｲｽ	6	101	0.21
A	24	JP5H55879	ﾍﾝｶｼｰﾝ CCM ｳﾞｪﾗｰﾉ	41,994	121,693	2,022	1,237	60	0.12	94	-0.08	36	-0.04	1.99	0.59	1.32	0.39	1.07	2	ﾎﾞﾙﾄﾝ × ｼﾞｬｽﾃｲｽ	7	100	1.67
A	25	JP5H55845	ﾋﾟｭｱｿｳﾙ ﾅｲﾄﾒｱﾘｰ ﾏｰｸｲｽ ET	59,562	106,656	2,002	1,023	43	0.05	96	0.13	40	0.08	0.36	0.09	0.56	-0.06	0.10	2	ｱｲｵｰﾝ × ﾒｶﾞﾏﾝ	6	101	-0.16
A	26	JP3H56204	ｻﾘｯｸｽ ｼｰﾌﾞﾘｰｽﾞ	37,882	41,824	1,990	-4	77	0.86	27	0.28	24	0.26	1.05	0.30	1.30	0.94	0.95	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ｽｰﾊﾟｰ	7	100	-0.69
A	27	JP3H56605	ｸｰﾑﾌﾞｰﾅ ｽﾉｰﾏﾝ ﾍﾞｰﾀｰ ET	109,045	82,694	1,990	741	43	0.15	86	0.12	31	0.09	1.60	0.63	1.16	1.45	1.72	2	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ﾊﾞｯｶｲ	5	103	0.39
A	28	JP5H55782	ﾘﾊﾞｰｻｲﾄﾞ ｸﾞﾚｲﾌﾞ ET	77,687	63,074	1,980	537	30	0.12	58	0.16	28	0.11	1.62	1.27	1.00	1.23	1.57	2	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾓｰﾃｨｰ	6	101	0.81
A	29	JP3H55992	ﾗｲｼﾞﾝｸﾞｻﾝ ｻﾏｰ ｿﾆｯｸ ET	28,160	90,319	1,967	860	49	0.17	69	0.00	37	0.10	0.59	0.43	1.19	0.81	0.82	3	ｽﾉｰﾏﾝ × ﾊﾞｸｽﾀｰ	7	99	-0.30
A	30	JP3H55731	ｹﾈｶﾗﾝﾄﾞ ﾌﾟﾗｯﾄ ﾕｯﾌﾟ ET	46,421	111,057	1,964	1,119	41	-0.03	110	0.09	51	0.15	-0.35	-0.01	-0.19	-0.31	-0.41	3	ﾌﾟﾗﾈｯﾄ × ｼｮｯﾃﾙ	6	101	0.78

入手難易度

A：配布希望本数に応じて供給可能なもの。　B：割当配布（時期により入荷の厳しいもの）　C：制限配布（少量入荷が続いているもの）　D：制限配布（非常に少量しか入荷できないもの）　E：本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

牛白血球粘着性欠如症（BL）及び牛複合脊椎形成不全症（CV）は掲載牛全頭陰性。ブラキスパイナ（BY）については、掲載牛全頭検査済みで、保因牛については名号の後に*BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月２０日までに当組合まで注文願います】

～ 乳 用 牛 改 良 情 報 ～

兵庫県酪農協　生産指導部　購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛（アメリカ）

ＴＰＩ順　米国ホルスタイン協会《2018-4》

供給難易	TPI順位	略号	種雄牛名号			TPI	乳量					信頼度	体細胞	生産寿命	体型のEBV				血統情報	分娩難易度
								F	F	PRO	PRO				体型	乳器	肢蹄	信頼度		
							(kg)	(kg)	(%)	(kg)	(%)								父牛 × 母系祖父	
B	1	29H17553	ﾕﾂｶｰ ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ ｼﾞｮｰｽｰﾊﾟｰET	TC	TV	2,806	3,123	103	-0.10	89	-0.04	99	2.83	6.10	1.42	0.94	-0.19	99	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾋﾞｰｺﾝ	7.3
B	2	203H1468	ﾐｽﾀｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾃﾞﾙﾀ 1427 ET	TC	TV	2,802	1,625	88	0.22	54	0.04	99	2.88	6.20	2.21	2.64	1.72	99	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	6.0
B	3	151H0681	EDG ﾙﾋﾞｺﾝ ET	TC	TV	2,775	1,156	107	0.50	49	0.10	99	2.79	5.40	2.06	1.70	2.40	99	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	7.2
B	4	151H690	ﾐｽﾀｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾃﾞﾙﾀ 1426 ET	TC	TV	2,695	2,145	98	0.14	69	0.02	98	2.99	2.50	2.14	2.54	1.18	95	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	11.5
B	5	7H12266	ｳｯﾄﾞｸﾚｽﾄ ﾓｰｸﾞﾙ ﾖﾀﾞｰ ET	TR	TP	2,690	1,128	97	0.42	48	0.10	99	3.02	5.10	1.90	2.12	1.69	98	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	5.9
B	6	203H1513	ﾐｽﾀｰ MUCCUT ﾀﾞﾝﾃ 1407 ET	TC	TV	2,680	1,960	81	0.06	69	0.06	95	2.79	3.80	2.18	1.53	0.80	86	ﾏｯｶﾁｪﾝ × ﾛﾊﾞｽﾄ	6.8
B	7	11H11478	ﾃﾞｽｰ ｱﾙﾀﾘｰﾌ ET	TR	TP	2,647	2,179	83	0.02	62	-0.04	98	2.74	4.60	2.39	1.67	1.27	94	ｵｰｸ × ﾄﾘｶﾞｰ	7.3
B	8	7H12165	ﾍﾞｰｺﾝﾋﾙ ﾓﾝﾄﾛｽ ET	TR	TP	2,641	2,640	73	-0.02	77	-0.02	99	3.06	4.10	1.94	2.33	1.35	99	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾎﾞﾙﾄﾝ	6.8
B	8	14H7418	ｲｰﾙﾄﾞﾝﾂｲｰﾄﾞ SSR ﾍﾞﾙｴｱｰ ET	TR	TO	2,616	1,179	82	0.30	50	0.10	97	2.98	5.30	2.22	2.07	1.57	94	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾌﾞﾂｹﾑ	7.0
B	10	203H1470	ﾐｽﾀｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾃﾞｲｵﾝ 15008 ET	TC	TV	2,611	986	75	0.04	54	0.18	98	2.67	4.50	1.22	1.80	0.68	95	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	5.8

入手難易度

A：配布希望本数に応じて供給可能なもの。　B：割当配布（時期により入荷の厳しいもの）　C：制限配布（少量入荷が続いているもの）　D：制限配布（非常に少量しか入荷できないもの）　E：本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月２０日までに当組合まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度８%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛、ＥＴとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となりま

～ 乳 用 牛 改 良 情 報 ～

兵庫県酪農協　生産指導部　購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定済種雄牛（本組合で扱いがあるもの）

ＧＬＰＩ順

ｶﾅﾃﾞｨｱﾝ ﾃﾞｲﾘｰ ﾈｯﾄﾜｰｸ
《2018-4》

供給難易	ＬＰＩ順位	略　号	種　雄　牛　名　号	GLPI	乳量	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV					血統情報	管理形質
						F	F	PRO	PRO			体型	乳器	肢蹄	乳用強健性	尻		分娩能力
					(kg)	(kg)	(%)	(kg)	(%)								父　牛　×　母系祖父	
B	1	200H3910	ｺﾑｽﾀｰ ﾛｰﾄﾗｽﾄ	3,258	1,663	88	0.22	75	0.16	2.92	90	12	11	11	4	9	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾏﾝｵｰﾏﾝ	100
A	2	200H10000	ｺﾑｽﾀｰ ﾗｲﾝﾏﾝ	3,257	1,005	66	0.25	52	0.15	2.64	94	13	15	9	2	3	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾏﾝｵｰﾏﾝ	102
B	3	29H16909	ﾗｰｸﾚｽﾄ ｺﾏﾝﾀﾞｰ ET	3,257	1,665	91	0.24	73	0.15	2.82	95	9	8	9	7	0	ﾓｰｸﾞﾙ × ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	100
B	4	11H11293	ｱﾙﾀ ｴｼｭﾛﾝ	3,236	2,243	76	-0.07	67	-0.05	2.73	92	7	9	5	4	-8	ﾛﾊﾞｽﾄ × ｺﾞｰﾙﾄﾞｳｨﾝ	105
B	5	1H10788	ｺｲﾝ ﾌｧｰﾑｽ ｼﾞｪｲｼｰ CRI ET	3,229	2,380	30	-0.49	81	0.02	2.37	96	6	3	10	1	2	ｱｲｵﾀ × ﾏﾂｾｲ	101
B	6	250H1009	ﾒｲﾌﾟﾙｳｯﾄﾞ ﾌﾞﾘｭｰﾏｽﾀｰ	3,222	1,248	132	0.74	52	0.09	2.70	94	7	4	5	8	9	ｷﾞﾔﾚｯﾄ ｼｮｯﾄﾙ	102
B	7	203H1468	ﾐｽﾀｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾃﾞﾙﾀ 1427 ET	3,216	1,798	102	0.37	67	0.07	2.81	86	8	8	4	1	2	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	107
B	8	11H11437	ｳｴｽﾀｰﾝ ﾚｰﾄﾞ ｱﾙﾀｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ	3,207	1,382	92	0.35	67	0.17	2.91	90	9	9	6	3	-2	ﾓｰｸﾞﾙ ｼﾞｪﾗｰﾄﾞ	101
E	9	250H1102	STE ｵｰﾃﾞｨｰﾙ ｵｰｼｬﾆｯｸ	3,199	2,084	42	-0.31	54	-0.12	2.92	91	14	14	15	4	7	ｴﾋﾟｯｸ × ﾏﾝｵｰﾏﾝ	98
B	10	534H0026	EDG ﾃﾞｨｰﾏﾝ ET	3,197	325	90	0.72	50	0.34	2.77	88	11	9	13	10	-2	ﾓｰｸﾞﾙ × ｱｯﾄﾞｳｯﾄﾞ	97

入 手 難 易 度

A：配布希望本数に応じて供給可能なもの。　B：割当配布（時期により入荷の厳しいもの）　C：制限配布（少量入荷が続いているもの）　D：制限配布（非常に少量しか入荷できないもの）　E：本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月２０日までに当組合まで注文願います】

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%) については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向示す。
分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若
相関関係が確認されています。
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やＥＴとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてく
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素と

～ 乳 用 牛 改 良 情 報（ホル♀） ～

兵庫県酪農協　生産指導部　購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛

総合指数順　（ N T P ）

《2018-2》

NTP順位	略号	種雄牛名号	長命連産効果 (円)	乳代効果 (円)	総合指数 (GNTP)	生産能力のEBV（推定育種価） M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体型のEBV 体貌と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定 得点	体細胞スコア	血統情報 父牛 × 母系祖父	産子難産スコア	備考
3	JP5H55552	ｻﾝﾜｰﾄﾞ ｽｰﾊﾟｰ ｴﾓｰｼｮﾝ ET	127,701	150,210	2,653	1,526	60	0.03	145	0.02	48	0.01	-0.07	0.62	0.60	0.85	0.69	1.71	ｽｰﾊﾟｰ × ﾊﾞｸｽﾀｰ	7	
4	JP3H55839	ﾃｲｰﾕｰ ﾅｲﾄ ｴｸﾘﾌﾟｽ ET	108,328	154,559	2,557	1,638	33	-0.29	164	0.19	54	0.02	0.41	0.23	0.31	1.06	0.91	1.45	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ﾏｽｺｰﾙ	6	
6	JP3H55953	ﾚｲﾊﾞｰ ﾅｲｱｸﾞﾗ ﾊﾟﾘｯｼｭ ET	78,474	119,574	2,540	1,079	53	0.13	118	0.23	46	0.13	0.50	0.10	0.46	1.44	0.94	1.86	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ｼｮｯﾃﾙ	8	
9	JP3H56430	ﾒﾓﾘｰ ﾁﾔｰﾑ ﾓｰﾆﾝｸﾞ ET	85,878	109,966	2,315	1,040	49	0.13	97	0.09	39	0.04	0.31	1.19	0.34	0.96	0.92	1.58	ﾌﾞｯｹﾑ × ｽｰﾊﾟｰ	7	
11	JP3H56115	ﾋﾟｭｱｿｳﾙ ﾛﾐｵ ﾊﾞｯｼﾞｵ	51,357	87,633	2,264	706	36	0.09	97	0.39	47	0.25	0.22	0.66	0.36	0.69	0.63	2.60	ﾄﾞｰﾍﾞﾙﾏﾝ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	6	
14	JP3H56376	ﾃﾞｲﾍﾞﾛｯﾌﾟ ｷｭｰﾄﾏﾝ ET	64,233	109,952	2,181	1,172	35	-0.10	108	0.01	39	0.01	1.52	0.38	1.40	1.71	1.67	1.70	ﾌﾞｯｹﾑ × ｼｮｯﾄｱﾙ	7	
19	JP5H55973	ｽﾄﾚﾁｱ ｴｳﾞｱﾝ	77,971	97,549	2,103	934	35	0.01	99	0.16	39	0.09	0.46	0.69	0.17	0.85	0.93	2.28	ﾋﾞｰｺﾝ × ｼﾞﾔｽﾃｲｽ	6	
21	JP5H55723	ﾓﾝﾏ ﾌﾞﾘｽｸ ET	42,165	161,323	2,098	1,708	60	-0.05	140	-0.05	51	-0.03	-0.25	-0.75	-0.23	0.21	-0.32	2.89	ﾌﾟﾗﾈｯﾄ × ﾄｲｽﾄｰﾘｰ	6	
24	JP5H55879	ﾍﾝｶｼｰﾝ CCM ｳﾞｴﾗｰﾉ	41,994	121,693	2,022	1,237	60	0.12	94	-0.08	36	-0.04	1.99	0.59	1.32	0.39	1.07	2.49	ﾎﾞﾙﾄﾝ × ｼﾞﾔｽﾃｲｽ	7	
28	JP5H55782	ﾘﾊﾞｰｻｲﾄﾞ ｸﾞﾚｲﾌﾞ ET	77,687	63,074	1,980	537	30	0.12	58	0.16	28	0.11	1.62	1.27	1.00	1.23	1.57	1.96	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾓｰﾃｲｰ	6	

これらのストローは０．２５ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳 用 牛 改 良 情 報 （ホル♀）～

兵庫県酪農協　生産指導部　購買課

米国ホルスタイン協会
《2018-4》

略　号	種　雄　牛　名　号	TPI	乳量					信頼度	体細胞	生産寿命	体型のEBV				血統情報	分娩難易度
			(kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)				体型	乳器	肢蹄	信頼度	父牛 × 母系祖父	
551H690	ﾐｽﾀｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾃﾞﾝﾊﾞｰ 1426 ET	2,695	2,145	98	0.14	69	0.02	98	2.99	2.5	2.14	2.54	1.18	95	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	11.5
5047H12266	ｳｯﾄﾞｸﾚｽﾄ ﾓｰｸﾞﾙ ﾖﾀﾞｰ ET	2,690	1,128	97	0.42	48	0.10	99	3.02	5.1	1.90	2.12	1.69	98	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	5.9
511H11478	ﾃﾞｽｰ ｱﾙﾀﾘｰﾌ ET	2,647	2,179	83	-0.20	62	-0.04	98	2.74	4.6	2.39	1.66	1.27	94	ｵｰｸ × ﾄﾘｶﾞｰ	7.3
507H12165	ﾍﾞｰｺﾝﾋﾙ ﾓﾝﾄﾛｽ ET	2,641	2,640	73	-0.14	77	-0.02	99	3.06	4.1	1.94	2.33	1.35	99	ﾓｰｸﾞﾙ ﾎﾞﾙﾄﾝ	6.8
501H11376	ｳｴｲｹﾞﾗｲﾝ ｼﾞｪｲｼｰ ﾀﾊﾞｽｺ ET	2,577	1,785	48	-0.28	67	0.10	95	2.69	4.8	1.87	1.23	1.02	85	ｼﾞｪｲｼｰ ﾌﾞｯｹﾑ	8.0
507H11621	S-S-I ｽﾉｰﾏﾝ ﾒｲﾌﾗﾜｰ ET	2,568	2,478	54	0.04	76	0.10	99	2.81	4.9	0.97	0.75	0.88	98	ｽﾉｰﾏﾝ ｿｸﾗﾃｽ	6.9
501H11881	ｺｰﾌﾟ ﾌﾞﾘﾝｽﾄﾝ ET	2,562	2,448	97	0.44	76	0.00	97	2.77	3.9	1.70	1.72	0.24	90	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾄﾞﾙﾁｴ	6.4
501H10396	ｺｰﾌﾟ ﾛﾊﾞｽﾄ ｶﾌﾞﾘｵﾚ ET	2,561	965	92	0.04	48	0.02	99	2.89	6.2	-0.03	0.76	0.41	98	ﾛﾊﾞｽﾄ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	4.8

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%) については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向示す。
分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若
相関関係が確認されています。
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やＥＴとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてく
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素と

これらのストローは０．２５ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳 用 牛 改 良 情 報 （ホル♀）～

兵庫県酪農農協　生産指導部　購買課

Canadian Dairy Network
《2018-4》

略　号	種　雄　牛　名　号	GLPI	乳量	乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV					血統情報	分娩能力
			(kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	乳器	肢蹄	乳用強健性	尻	父牛 × 母系祖父	
777H3910	ｺﾑｽﾀｰ ﾛｰﾗｽﾄ	3,258	1,663	88	0.22	75	0.16	2.92	90 %	12	11	11	4	9	ｽｰﾀﾞﾝ × ﾏﾝｵｰﾏﾝ	100
529H16909	ﾗｰｸﾚｽﾄ ｺﾏﾝﾀﾞｰ ET	3,257	1,665	91	0.24	73	0.15	2.82	95 %	9	8	8	7	0	ﾓｰｸﾞﾙ × ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	100
550H1009	ﾒｲﾌﾟﾙ ｳｯﾄﾞ ﾌﾞﾘｭｰﾏｽﾀｰ	3,222	1,248	132	0.74	52	0.09	2.70	94 %	7	4	4	8	9	ｷﾞﾔﾚｯﾄ × ｼｮｯﾄﾙ	102
511H11379	ﾛｰﾝｵｰｸｴｰｶｰｽ ｱﾙﾀﾗﾎﾞ ET	3,172	821	71	0.36	42	0.12	2.61	94 %	11	11	11	2	3	ﾓｰｸﾞﾙ ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	107
777H3950	ﾘｯﾁﾓﾝﾄﾞ FD EL ﾎﾞﾝﾍﾞﾛ ET	3,123	1,520	77	0.17	47	-0.03	2.52	95 %	9	6	6	7	3	ﾇﾒﾛｳﾉ × ｽｰﾊﾟｰ	101
777H6480	ﾊﾞﾙﾋﾞｯｿﾝ ﾄﾞｱﾏﾝ ET	3,105	56	43	0.38	38	0.03	2.54	99 %	14	12	12	15	2	ﾌﾞｯｹﾑ × ｼｮｯﾄﾙ	99
511H11380	ﾛｰﾝｵｰｸｴｰｶｰｽ ｱﾙﾀﾛｰﾌﾞﾚ ET	3,100	962	44	0.07	38	0.25	2.65	90 %	13	11	11	3	4	ﾓｰｸﾞﾙ ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	106
507H12111	ﾐｽﾀｰ OCD ｴﾋﾟｯｸ ﾄﾞﾗｺﾞﾝﾊｰﾄ ET	3,088	2,591	53	-0.37	60	-0.20	3.03	93 %	12	12	12	3	8	ｴﾋﾟｯｸ ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	104

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%) については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向示す。
分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については相関関係が確認されています。
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やＥＴとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けて潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素

平成３０年７月６日

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

多くの船社が７月１日付でＧＲＩ（海上運賃一斉値上げ）を決行しました。値上げ幅は最大で＄１００／コンテナとなっており、加えて原油価格の上昇を受け、Ｅ-ＢＡＦ（緊急燃料調整費）として＄５０－＄６０／コンテナの範囲で海上運賃に上乗せされています。

海運業界ではアライアンスの再編や合併などが進み、航路・サービスの合理化が増えています。この影響で船腹の調整も進み、値上げの環境が整ってきたという見方もできます。現行の海上運賃は過去の推移からみても底値レベルであり、航路や船腹の調整が進むにつれ、さらなる値上げ基調となることは避けられないと考えられます。

また現在、北米西海岸の各港は混雑しており、特にシアトル港／タコマ港では船腹の予約が取りにくい状況が続いており、船積みの遅延の要因となっています。加えて、米国内のトラック事情も悪化しています。Ｅ-Ｌｏｇ（ＥＬＥＣＴＲＯＮＩＣ ＬＯＧ ＤＡＴＡ）の導入以降、１ 日当たりの輸送時間が限られていることから、産地から各輸出業者の工場、並びに各工場から各輸出港までの輸送能力の確保が課題となっています。

LA/LB（ロサンゼルス/ロングビーチ）港では、現在、港周辺の道路の混雑を緩和することを目的として、日中にコンテナの搬出入をする際に「ピアパス」と呼ばれる課金制度が実施されています。夜間にコンテナの搬出入を誘導することを目的とした制度ですが、今年８月からこの「ピアパス」は日中・夜間問わず全日が対象となる予定です。課金の単価は減額される見込みですが、コンテナの搬出入の時間に関係なく制度の対象となることで、輸出業者のコストは上昇してくるものと思われます。

ビートパルプ

＜米国産＞

日本向け主力のミネソタ州及びノースダコタ州では５月２０日前後で作付けが終了しました。その他の地域でも概ね５月中に作付けが終了しています。当初は、４月から５月初旬にかけての低温の影響で作付けの遅れが懸念されていましたが、その後天候は回復し作柄に大きな影響を及ぼす事態は避けることができました。現状では、初

期生育に必要な土中の水分も十分であり、例年並みの作柄を予想しています。

中国からは継続的に引き合いがありますが、米国側に供給余力がないため具体的な商談には至っていません。新穀の契約についても話は進んでおらず、米中間の通商問題の行方を懸念しつつ、その状況を見守っている状態です。

アルファルファ

ワシントン州

当地では１番刈が終了し、２番刈が始まっています。今のところ天候は良好で色目が良いものが発生しているとのことです。

今年の１番刈は、総じて見た目は良いものの、葉付きが良いものは少ないのが特徴で、全体的に成分は低め、茎も当地らしい茎太品は少なく細めの傾向です。

その要因としては、生育期に気温が一時上昇したものの、後半は冷涼な傾向にあったため、茎が太くなりにくかったと考えられています。また、収穫期においては、多くの圃場で降雨を避けるために刈り取りを遅らせたことで、成分が低い傾向になったと思われ、いわゆるプレミアム品は全体の３０－４０％程度と推測されています。さらには収穫期間中、風が強かったことから夜露が降りにくい状況が続き、過乾燥に陥りやすく葉崩れが起こり、葉付きが良いものが少なくなりました。

産地相場はＰＳＷ産の上昇の影響と当地における高成分品・上級品の不足感から、昨年の同時期に比べ＄３０／トン前後上昇しており、２ 番刈以降の相場についても同様に堅調に推移する可能性が出てきました。

18 年産ワシントン産 1 番刈アルファルファ　６月中旬撮影

オレゴン州

クラマスフォールズでは、1 番刈はほぼ終了しています。収穫期の序盤では一部で降雨被害が出ており、全体の約 30%が雨当たり、約 30%が軽微な雨当たり、残りの約 40%が降雨を避けられた良品と推測されています。これら良品に対しては国内酪農家及び輸出業者から非常に強い引き合いが入っており、産地価格は上昇しています。

クリスマスバレーでは、１番刈が終盤を迎えています。当地においても６月上旬と下旬に降雨が観測されており、良品に対してはクラマスフォールズ同様、旺盛な引き合いが入っています。ワシントン産の１番刈から十分な高成分品が発生しなかったこともあって良品への需要が高まり、クラマス・クリスマス両地域の相場は上昇している状況です。

ネバダ州／ユタ州

ネバダ州では１番刈が終了しています。当地においても収穫期に数度の降雨があったとのことで良品は限られているようで、これらの価格は他産地と同様に上昇しています。

ユタ州では１番刈の収穫は大きな降雨被害はなく終えられたとのことで、全体的に葉付きや色目も良い状態で仕上がっているようです。しかしながら、良品を求める国内酪農家を中心に引き合いが強く、産地相場は堅調に推移しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部では、現在４番刈の収穫が終盤を迎えています。わずかに発生した上級品も中東勢が積極的に買付を行っている状況です。このため産地相場は引き続き堅調に推移しています。

このような状況の中、米中の通商問題の影響として、中国の輸入関税が７月６日から 25%に上昇すると言われており、特に米国の輸出関係者は神経質になっています。現状では中国向けの上級品は在庫が少ないため、関税が増加したとしても一定量の需要は続くとの見方もある一方、発生量が多い中級品以下については需要が冷え込む可能性があると言われています。具体的にどのような影響が出るかは様々な見方があり、今後の中国からの需要動向には今まで以上に注視が必要と言えます。

米国産チモシー

産地では収穫作業が後半を迎えています。コロンビアベースンでは約 80%が刈り取りを終えており、そのうち約半分が雨当たりの被害を受けています。エレンズバーグでも収穫は後半を迎えていますが、３０－４０%が何らかの降雨被害を受けているようです。これらは主として６月中旬に起こった激しい降雨によるもので、この影響で酪農向けの上級品の発生量は非常に限れられることになりそうです。当初は軟化すると予想されていた産地相場も、上級品においては一転して昨年並みかそれ以上の価格で堅調に推移しつつあります。一方で低級品に関しては発生量も多くなることから、相場は軟化すると予想されています。

カナダ産チモシー

クレモナ地区では、５月から６月にかけての降雨量が例年の半分程度で、生育が思わしくないようで、収量にも影響が出る恐れが出てきました。収穫作業は７月中旬頃から順次開始される見込みです。

レスブリッジ地区では、６月末から収穫が始まっていますが、春季の冷涼な気候の影響を受けて生育はやや遅れ気味となっており、７月上旬以降に収穫が本格化してくる見込みです。作付面積は 17 年産の良好な作柄と輸出向け及び国内向けからの安定的な需要を受け、昨年に比べ１０%ほど増えているとのことです。

スーダングラス

主産地インペリアルバレーでは１番刈が８０%程度終了しています。品質については残念ながら昨年と比べると全般的に劣っており、茎のばらつきや茶葉の混入が見られるものが多く、茎細品の発生が少ない状況です。

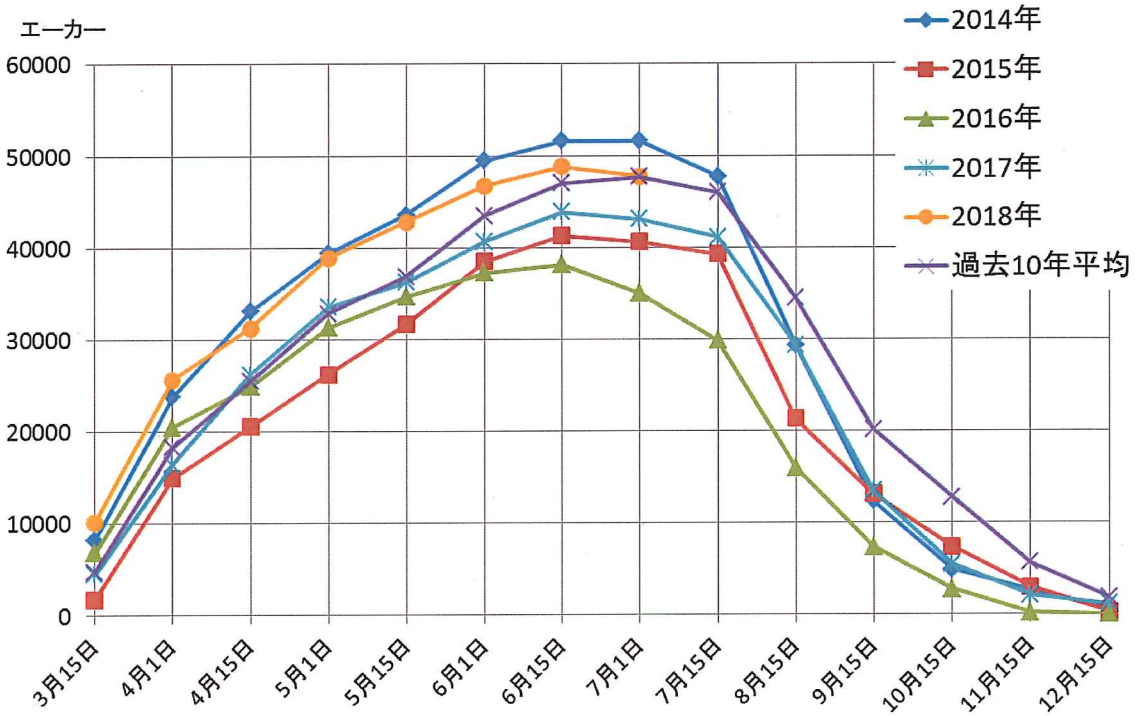
要因としては、温暖な天候であった３月上旬に播種をした圃場では、その後の強風の影響で種子が乾燥し発芽しないものが多くなったこと、また５月にも一時気温が上昇し、水入れ後に急速に生育が進んだことで、結果的に刈り遅れ気味になった圃場が多くなったことなどが挙げられます。さらには、スーダン種子の価格の高騰による播種量の抑制も一部の要因とも考えられます。

産地相場は例年に比べ静かな状況ですが、茎細品や色抜け品などのいわゆるプレミアム品の買付は激化しているようで、中級品以下との価格差が例年以上に広がっていきそうです。

18 年産スーダングラス　茎細品　６月下旬撮影

また、６ 月は例年以上に湿度が出てきているため、今後収穫される遅播きの１番刈や早播きの２番刈などの品質に影響が出そうです。早播きの１番刈で想定よりも良品

が生産できず、さらに産地相場も一部の上級品を除き軟調な傾向にあることから、生産農家の生産意欲は減退しており、２番刈の生産を取りやめる圃場も出始めています。



	3月15日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	8236	23795	33118	39364	43597	49495	51586	51594	47756	29337	12376	4879	2646	568
2015年	1752	14942	20561	26214	31644	38502	41260	40633	39247	21329	13150	7345	2998	278
2016年	6874	20497	24929	31326	34651	37268	38130	34990	29859	15979	7335	2784	174	18
2017年	4503	16465	26207	33563	36250	40668	43834	43096	41138	29354	13449	5443	2067	1128
2018年	10178	25621	31260	38881	42791	46694	48787	47747						
過去10年平均	4780	18303	25498	32810	36859	43446	47007	47700	46005	34492	20158	12719	5625	1858

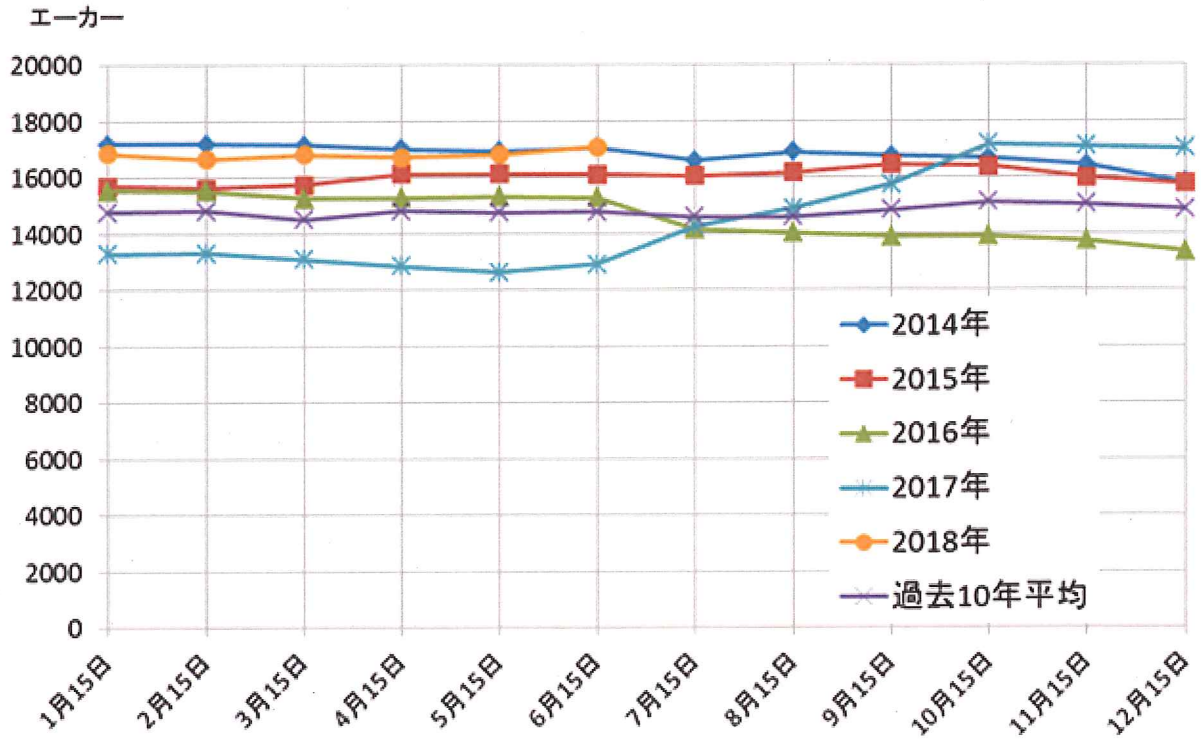
インペリアルバレー　スーダン作付面積（２０１８年７月１日時点）単位：エーカー

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地では２番刈を終え３番刈を待っている状況で、早い圃場では３番刈が始まっています。産地相場は引き続き旺盛な韓国からの需要により堅調に推移しています。今のところ天候は安定しているため、３番刈からも良品が多く発生すれば、産地相場も若干軟化する可能性もあります。また、相場を牽引していた韓国が新穀のチモシーの船積みを増やしていけば、クレイングラスへの引き合いが緩むことも期待できます。

今後の産地相場は、天候や作柄に加え、韓国からの需要、並びにスーダン及びチモシーの新穀相場の影響を受けて推移していくものと考えられ、未だに不透明な状況と言えます。

18年産クレイングラス　2番刈　6月中旬撮影



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17192	17192	17140	17005	16930	17038	16578	16873	16745	16659	16413	15786
2015年	15691	15605	15724	16111	16111	16086	16026	16152	16430	16372	15974	15746
2016年	15526	15501	15234	15255	15295	15262	14142	14002	13871	13896	13739	13354
2017年	13276	13296	13092	12846	12614	12901	14255	14875	15722	17159	17088	16999
2018年	16832	16628	16796	16695	16794	17071						
過去10年平均	14754	14803	14490	14800	14744	14768	14586	14570	14813	15101	15024	14835

インペリアルバレー　クレイングラス作付面積（２０１８年６月中旬時点）単位：エーカー

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

日本および韓国からのストロー需要は引き続き堅調に推移しています。旧穀はすべて成約済みとなっており新穀の出荷待ちとなっています。

産地では 18 年産の収穫作業が始まっています。今のところ天候も安定しており、

単収は昨年に比べやや落ちるものの、品質的に大きな問題は発生していないようです。

豪州産オーツヘイ

豪州全域において、播種時期から初期生育期にあたる５月から６月にかけて、降雨不足の時期があり放牧草の生育が不十分となったため、国内からの需要が増加しています。このため、生産農家の在庫や輸出業者の余剰在庫が放出されており、2017 年産の繰り越し在庫は少ない状態で新穀を迎えると予想されています。特に低級品を中心に国内需要へ対応したため、これらの産地相場は急激に上昇しています。

西豪州では播種後の降雨不足は深刻化するとの懸念がありましたが、５月後半からまとまった降雨が見られ、生育も回復しており状況は改善しつつあります。作付面積は、カノーラからの転作や中国向けなどの食用向けのオーツグレインとしての需要増の期待感もあり増加しています。しかしながら、オーツ「ヘイ」として収穫されるかは収穫期である９月から 10 月にかけての判断となるため、作付面積の増加がオーツヘイの生産増に直結するかは今のところ不透明です。

東豪州では、地域によっては未だに平年並みの生育状況に達していないところもあり、今後の降雨量を注視していく必要があります。作付面積は昨年の良好な作柄を受けてやや増加しているようです。

以　上

出荷生乳への「抗生物質混入」にご注意下さい！！

平成３０年４月１日以降、組合で把握しているだけで、抗生物質混入により廃棄する事故が２０件（自己廃棄含む）と、わずか3ヶ月あまりで２８ｔの生乳の廃棄事故が多発しています。また、下の抗生物質事故被害の拡大図にもありますように、ひとたびストレージタンクまで混入してしまうと大きな被害になります。

そのため、組合員の皆様には、再度以下の事を実施して頂きたくお願い致します。

１．抗生物質治療牛の場合

１）１乳頭のみ治療した場合でも、確実に別搾りをして全量廃棄
２）休薬期間を超えても残留の可能性があるため、確実に出荷前検査を受ける
３）検査の際は、生乳検査依頼書に使用薬剤を必ず記入

２．治療をしていない牛、初産牛の場合

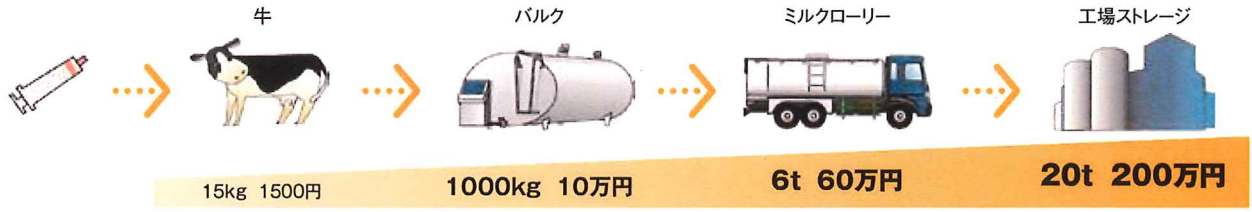
近年、ペーパーディスク法（生乳取引の正式な検査方法）による検査において、生体由来による抗生物質の反応が検出されることがあります
（主な例：細菌性乳房炎乳からはリゾチーム、マイコプラズマ乳房炎乳からはラクトフェリンとウシＩｇＧが正常値より高い値で検出）。

１）初乳※で治療をしていない牛、初産牛であっても出荷前検査を実施
２）検査の際は、使用薬剤の欄には無しと記入して備考欄に確認検査と記入してください。
※乳等省令で分娩後５日以内の生乳は出荷してはならないとなっています。

３．個体検査による乳質管理

生体由来による抗生物質の反応が出ない様に、牛群検定または定期的な個体検査実施による乳房炎罹患牛の把握等に努める

■抗生物質事故被害の拡大
（迅速検査法を採用すると、多くがローリー段階で食い止めることができる）



（図：集乳業務担当者向け作業手順マニュアル - 中央酪農会議より）

生乳の廃棄事故は、出荷当事者の損害にとどまらず、ローリー単位、又は乳業者ストレージタンクの損害賠償まで及びますので、ご注意下さい。

兵庫県酪農農業協同組合